

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日更新

事務事業名		戦傷病者等援護事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	古澤 沙也加
	施策の柱	23	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班	(内線)	1155
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	戦傷病者戦没者遺族等援護法		
	一般	3	1	1	10428				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	旧軍人・軍属及び戦没者遺族等援護事業に係る国・県の窓口業務を行う。昭和38年戦傷病者戦没者遺族等援護法施行後から対象者の高齢化と、遺族会の対象者の裾野の広がりをみせている。現在、取扱う主な手続きは、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金・戦没者等の妻に対する特別給付金、戦傷病者等の妻に対する特別給付金など。平成22年度より遺族会運営支援事業、戦没者合同慰霊祭関係事業、傷痍軍人会運営支援事業を統合し、現在に至る。 慰霊祭については、旧合志町、旧西合志町で開催時期・開催方法等が異なっていたが、合併を契機に市遺族会として開催することとなった。平成20年度から追悼式と名称を変更し、平成21年度以降は参加者の高齢化等に鑑み御代志市民センターで固定して開催していたが、平成28年度は、御代志市民センターが熊本地震により被災したため、会場を菊南斎場に変更実施した。平成29年度・30年度も、遺族会の要望もあり引き続き会場を菊南斎場で実施しているが、令和元年度は、菊南斎場が熊本地震による建物改修工事のため御代志市民センターで開催した。令和2年度及び今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止している。
【業務の流れ】	戦没者遺族等援護に係る国・県の窓口業務を行う。(特別弔慰金・特別給付金の請求書受付事務及び国債交付事務。戦傷病者乗車券引換証発行等。) 遺族会への補助金の交付。合志市戦没者追悼式を開催する。
【主な予算費目】	報酬、役員費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特別弔慰金・特別給付金について、申請者が高齢となっており、もっと申請の簡素化ができないかとの要望がある。また、戦傷病者本人や戦没者遺族の高齢化が進み、反戦の流れを後世に伝えていくにはどうしたらよいかを考えなければならない時期にきているとの声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	第11回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の窓口業務を行った。また、合志市遺族会へ補助金を交付した。合志市戦没者追悼式を7月に菊南斎場で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市戦没者追悼式開催 合志市遺族会補助金交付 各種特別給付金の受付
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア 合志市戦没者追悼式開催回数 イ 各種特別給付金及び特別弔慰金(直近)等取扱給付件数	予算の主な増減の理由 前年度は特別弔慰金の受付をしていたが受付期間終了となったため役員費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	戦没者等の遺族、戦傷病者の妻、遺族会会員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア 合志市戦没者追悼式対象人数 イ 特別弔慰金対象者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	戦没者等の遺族及び弔慰を表す戦傷病者の妻に対して精神的苦痛に慰藉を行う。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア 合志市戦没者追悼式参加者数 イ 特別弔慰金(直近)申請者数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 申請者数については対象者の減に伴い減少して行くことが見込まれる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	0	0	1	0	1	1	1	1	
	イ 人	226	52	30	55	3	3	3	3	
② 対象指標	ア 人	322	322	300	299	290	280	270	260	
	イ 人	418	418	418	418	418	418	418	418	
③ 成果指標	ア 件	0	0	170	0	60	60	60	60	
	イ 件	226	52	30	54	3	3	3	3	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	48	15	15	15	15	15	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,013	226	733	300	726	733	733
		(A) 事業費計	千円	1,061	241	748	315	741	748	748
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	7	0	7	7	7
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	3	3	2	3	2	2	2
(B) 人件費計	正規職員従事人数	人	3	3	2	3	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	505	405	200	405	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	1,991	1,583	796	1,541	796	796	796	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,052	1,824	1,544	1,856	1,537	1,544	1,544	1,544	

事務事業名	戦傷病者等援護事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 戦没者追悼式については、7月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催中止した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 追悼式の開催や各種給付金等の申請事項の周知等が行い、達成見込み。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 遺族会と連携を図っており向上の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 対象者の高齢化が進んでおり、遺族会の会員も減少しているため削減の余地はある。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の人数で事務を行っているため削減余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 戦傷病者戦没者遺族等援護法に基づいた事業であるため、公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 戦傷病者戦没者遺族等援護法に基づいた事業であり、遺族会との連携を図りながら行っているため適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

対象者の高齢化により、追悼式を市全体の取り組みとして、実施していくことが必要。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						